

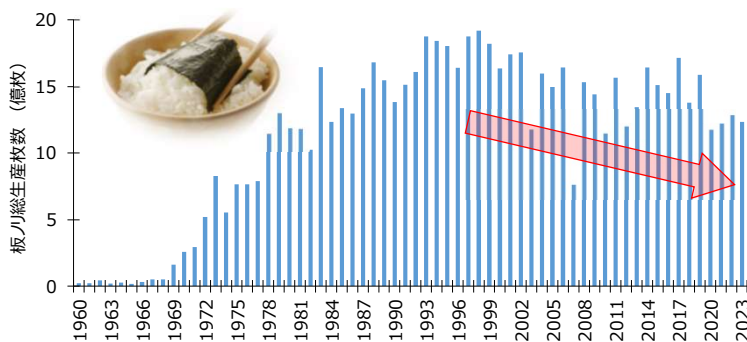
ノリ養殖場におけるクロダイの行動生態

【背景・目的・成果】近年、全国的な養殖ノリの生産枚数の減少が問題となっており、その要因の一つとしてクロダイによる食害が挙げられます。食害対策を実施するうえで、クロダイの行動生態に関する知見は必要不可欠であることから、バイオテレメリー手法※を用いてノリ養殖場周辺における本種の行動生態解明に取り組みました。その結果、ノリ養殖場周辺に生息するクロダイが周期的に、反復してノリを食べていたことが明らかとなり、これら個体が食害の原因であることがわかりました。

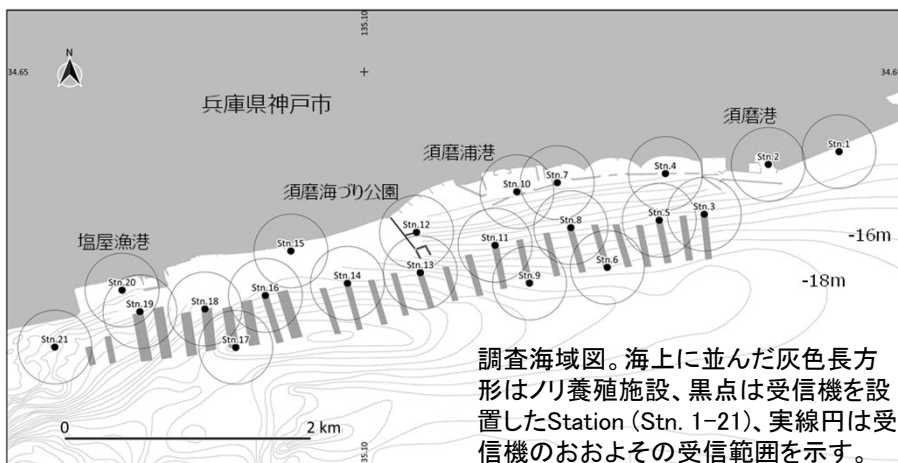
※研究対象魚に小型の発信機を装着して海域に放流し、海域に設置した受信機で信号を受信することで、対象魚の行動をモニタリングする手法。



養殖ノリを食べるクロダイ(神戸市ノリ養殖場)



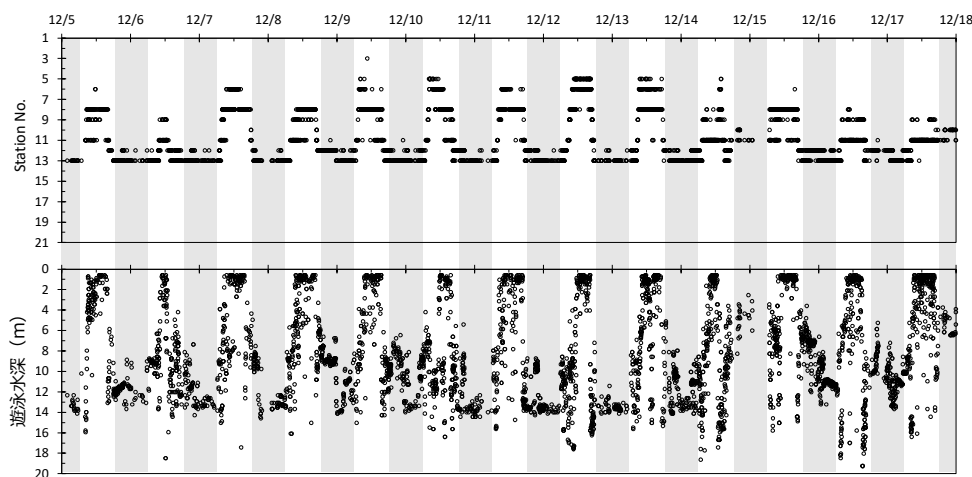
兵庫県の板ノリ総生産枚数の推移(兵庫県漁連資料より)



バイオテレメリーの概念図

- ➡ 発信機を装着したクロダイの約1/3がノリを食べていました。
- ➡ ノリを食べるクロダイは、日中は水面にあるノリ網直下を遊泳してノリを食べ、夜間はノリ養殖場の沿岸側にある構造物周辺に定位するという日周期的行動をとることがわかりました。
- ➡ 2シーズン連続してノリを食べていた個体も確認されました。

養殖場に生息するクロダイが反復してノリを食べることで食害が発生



左図：ノリを摂食する代表的な個体の行動。上段は水平的な動き(縦軸は受信したStation)、下段は鉛直的な動き(遊泳水深)を示す。灰色網掛は夜間、白抜きは日中を示す。

【技術の活用】ノリ養殖場周辺(沿岸域)に居付くクロダイの積極的な漁獲が食害軽減に繋がると考えられるため、沿岸域におけるクロダイの効率的な漁獲方法の検討・開発等に活用します。



兵庫県
Hyogo Prefecture

兵庫県立農林水産技術総合センター
水産技術センター

25-09

研究成果紹介
動画サイト

